

平成29年度 貝毒プランクトン出現状況(8月10日現在)

男鹿半島戸賀湾で、貝毒の原因とされるプランクトン(渦鞭毛藻類 *Dinophysis*属)の出現状況を調査しています(4月から8月にかけて、計12回予定)。

8月10日の調査では、*Dinophysis fortii* がわずかに出現し、その他の *Dinophysis* 属として *Dinophysis acuminata* もわずかに出現しました。

調査 月日	水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/L)		
			<i>Dinophysis fortii</i>	<i>Dinophysis acuminata</i>	<i>Dinophysis</i> 属 その他
① 4/10	5m	10.5	5	5	0
	10m	10.4	5	5	0
	20m	10.3	0	0	0
② 4/25	5m	12.0	0	5	5
	10m	12.0	10	0	0
	20m	11.5	0	0	0
③ 5/11	5m	12.0	10	0	0
	10m	12.1	5	10	0
	20m	12.3	5	0	0
④ 5/23	5m	16.4	20	5	0
	10m	15.8	5	0	0
	20m	14.9	0	0	0
⑤ 5/30	5m	17.5	0	0	0
	10m	17.3	5	5	0
	20m	15.0	5	0	0
⑥ 6/13	5m	17.0	5	0	5
	10m	16.9	5	0	0
	20m	16.5	5	5	0
⑦ 6/23	5m	19.2	10	5	0
	10m	19.1	5	0	0
	20m	18.7	5	0	0
⑧ 6/30	5m	20.6	5	0	0
	10m	20.0	0	0	0
	20m	18.5	5	0	0
⑨ 7/4	5m	20.4	0	0	0
	10m	19.5	0	0	0
	20m	19.5	0	0	0
⑩ 7/25	5m	25.3	0	0	30
	10m	25.1	0	0	10
	20m	23.0	0	0	0
⑪ 8/1	5m	26.0	0	0	5
	10m	25.3	0	0	0
	20m	23.2	0	0	10
⑫ 8/10	5m	26.0	15	0	0
	10m	26.0	0	0	0
	20m	25.8	0	10	0

なお、警戒値は *Dinophysis fortii* については 200 細胞/L (海水 1 リットルあたり 200 細胞) 以上とされています (安本 1993)。